

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

パート・非常勤部会ニュース No. 7

大阪市北区錦町2-2 国労会館1F 大阪労連パート・非常勤部会 2008・4・21

橋下知事 私たちは要らないのか？！

府立高校で働く臨時職員の「雇い止め」なんて 許さない！

大阪府の橋下徹知事直轄の改革プロジェクトチーム（PT）は4月11日、「財政再建プログラム試案」を公表しました。試案は08年から3年間を集中改革期間とし、08年度で1100億円の歳出を削減するとして、府民生活に直結するあらゆる施策の切捨てを行っています。

試案は、府立高校で働く教務事務補助、非常勤補助員などについて「08年8月以降20%縮減、09年度に全廃」を行うとしており、時間講師についても単価や総時間数の縮減で「08年8月から20%削減」としています。廃止検討の中には「定時制・通信制の教科書無償配布を廃止」「ハートケアサポーター（対生徒カウンセリング）廃止」「教育相談・人材バンク（部活動の指導者など）を縮減」なども含まれており、臨時職員部は「学校が壊される」と怒っています。

府立高校で働く教務事務補助、非常勤補助員は、府高教に組織されており、臨時教職員部として学期雇用による劣悪な労働条件の改善を求めて粘り強く運動をすすめてきました。

数年前、有給休暇をようやく勝ち取り、自費による健康診断も公費負担へと改善を勝ち取り、喜んでいました。昨年、大阪労連を代表して最賃の意見陳述をされた千賀さんも臨時教職員部です。府立高校の臨時職員は各学校に約1名～5名配置されており、府全体では300人以上働いていますが、この臨時職員全員が来年春に解雇されます。こんな試案は絶対に認められません。

以下のような緊急行動が行われます。集会への参加と署名活動へのご協力をぜひ、お願いします。

雇用は絶対まもる！ 雇い止めなんて許さない！

「改革プロジェクト試案」をぶっとばせ！ **決起集会**

日時：08年 4月 26日(土) 13:30～16:00

場所：大阪市社会福祉会館 第3会議室(たかつガーデン南)

主催：府高教、府高教臨時教職員部

* 近鉄「上本町」駅から徒歩3分（11番出口を東）

* 地下鉄「谷町9丁目駅」から徒歩7分

驚愕の年度初め！ PT 試案撤回に全力をあげる！

(府高教 臨時教職員部長 小林郁子さん)

府立高校で働く非常勤職員は、08年度暫定予算で7月末までの雇用とされていましたが、4・11発表の「府財政改革プロジェクトチーム (PT) の教育関係の試案によると、「09度は全廃」と明記されました。300名余もの非常勤職員がバツサリ解雇されるというのです。とんでもありません！！ 教育に臨時はないと訴えてきた私たちの仕事を取り上げると学校が混乱することは目に見えています。

私たちはいま、職場での全教職員署名活動に取り組むとともに26日は臨時総会を開き決起集会を予定しています。そして、外に向けても情報を発信し署名活動を展開していきますので何卒ご協力のほどお願い申し上げます。



(臨時・非常勤・パート・派遣労働者・フリーターのつどいで訴える臨時職員のみなさん)

私学助成削減、父母負担増大、学校がつぶされる、広がる雇用不安！

大阪府橋下知事が打ち出した私学助成削減計画によると各学校に配分される経常費助成は小中学校では30%、高校、幼稚園、専各では10%（今年は削減額の2/3）削減予定です。たとえば経常費助成額が3億円の学校では3000万円の削減で今年度は2000万円の削減になります。この学校の人件費率が70%とすると人件費は1400万円不足すること（例えば年収700万円の教職員2人分不足）になります。>

実際には、少なくない弱い立場の常勤講師、非常勤講師の雇い止め、解雇が予想されます。

深刻なのは小中学校では30%もの削減では経営そのものが維持できずつぶれる学校が多くでることが考えられます。そして授業料軽減助成についても対象となる世帯の最高年収を800万円から680万円に引き下げ、さらに助成額も各階層で減額しています。

(大私教 遠上さん)